

庵の京都モデル

京町家ステイ

コンセプト 町家の一棟貸し
ホテルにチェックインするように
京町家での滞在を提供
京都の上質な暮らしを体験
「暮らすように旅する」

Origin Art Program

日本人より日本文化を愛する
Alex Kerrが30年間実践を続けて
きた日本の伝統文化の体験プログラム
日本文化の底流のオリジンを感じる
ことができる

コンシェルジェ・サービス

京都ならではの食・学・遊の手配

暮らすように旅する



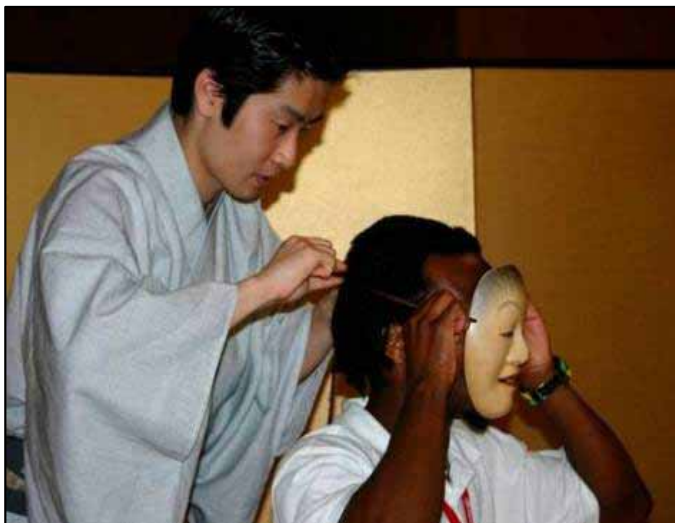
庵の京都モデル 京町家 1



庵の京都モデル 京町家 2



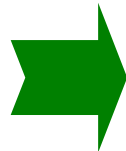
庵の京都モデル Origin Art Program



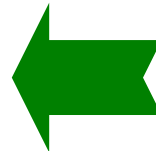
美しい日本を次の世代に…庵のコンサル事業



美しい日本は、
日本各地にある



存亡
の危機

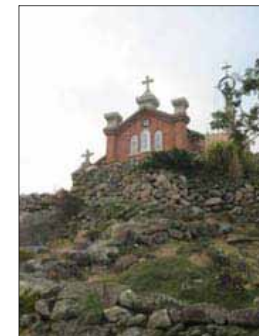


過疎高齢化・世帯流出・空家続出
歴史と文化と伝統が消失



lori 

美しい日本を次の世代に…庵のコンサル事業



- 自然景観
- 重要伝統的建造物群保存地区
- 農山漁村
- 城下町
- 門前町
- 宿場町
- 商店街



■ 美しい日本を残し、
次の世代に引き継ぐ
**大きな努力と
資金が必要**



ビジネスモデルが必要
滞在体験型観光
「暮らすように旅する」

大人の滞在体験型観光まちづくり

地域資源 の活用

■美しい自然景観 ■歴史的な町並み ■豊かな食材 ■石詰みの棚田
■里山 ■伝統産業 ■手工芸品 ■生活に根付いた文化・伝統 ■本物



泊

町家・古民家 ステイ

- 美しい町家・古民家の一棟貸し
- 暮らすように滞在する喜び
- 地域の上質な暮らしを味わう
- 地域の人と同じ空と風を感じる

食

町家・古民家 レストラン

- 美しい町家・古民家の地産地消レストラン
- 地域の豊かな食材を生かす一流シェフのプロデュースする料理
- 地域の奥様方が提供する地域のハレの日料理ランチ

学・遊

大人の体験 プログラム

- 地域の暮らしに根付いた伝統と文化の体験
- 地域の伝統産業のガイド・ツアー＋体験
- 農業体験 ■自然体験
- 体験後の地域との豊かな交流

庵の地域モデル 大人の滞在体験型観光まちづくり

参考例

徳島県三好市東祖谷



地域資源

泊

古民家・町家
ステイ

- 美しい古民家の伝統美はそのままに快適に改修＋伝統的な設えが迎える
- 祖谷の山里暮らしを満喫暮らすように滞在
- 東祖谷の上質な暮らしを味わう

+

食

古民家・町家
レストラン

- 美しい農家古民家の地産地消レストラン
- 地域の食材を生かす一流シェフプロデュースの朝夕食
- シェフの協力を得て、地域の奥様方が提供するハレの日の郷土料理ランチ

+

学・遊

大人の体験
プログラム

- 東祖谷の山村暮らしに根付いた伝統・文化の体験プログラム
- 山岳農業・林業・祖谷豆腐作り古式蕎麦打ち、かずら籠編み、草鞋づくり、平家落人伝説ツアー、里道散策、エコツアーなど
- 体験後の地域との豊かな交流

歴史的な町並み



▲タイムスリップしたかのような新町通りの景観

◀古い酒蔵群

参考例

五條市

周辺の豊かな田園地帯



五條ならではの食



自然に囲まれた周辺農山村の
美しい景観

参考例

五條市

今も息づく暮らしの魅力

▼ 流し雛



▼ かげろう座



歴史を感じる
街角



参考例

五條市

町家の活用

ー活動1ー

■町家レストラン

■町家ステイ

→活用を目指し

住まいと景観の
再生・活用



参考例

五條市

庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

泊

町家ステイ

- 暮らすように滞在
- 地域の人と同じ空と風を感じる



▲ 京町家の事例

参考例

五條市

▼ 五條ならではの佇まいの中で



庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

泊

町家ステイ

■美しい町家の一棟貸し

参考例

五條市



▲ 京町家の一棟貸し事例

▼五條の町家を一棟貸し



庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

泊

町家ステイ

■地域の上質な暮らしを味わう



▲ 京町家の事例

アレックス・カーによる上質なしつらえ ▶



参考例

京町家

食材調査＋メニュー開発

－活動２－

- 地場と周辺部の農畜産物を生かした「新しい食の魅
- 暮らしとともに郷土料理＋ハ
- 新しいメニュー開発

食の 再生・活用



参考例

五條市

庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

食

町家レストラン

■美しい古民家・町家の
地産地消レストラン

参考例

五條市



▲ 旧吉川邸



庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

食

町家レストラン

■地域の食材を生かす一流シェフが
プロデュースする料理＊朝夕食

▼ 一流シェフ考案の地元食材メニューを提供



▲町家でいただく朝食イメージ



庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

食

町家レストラン

■地域の奥様方が提供する郷土料理・ハレの日料理に工夫を加えたランチ

▼ おふくろの味が詰まった郷土料理



▲屋外でのピクニックランチ

参考例

東祖谷

体験プログラムの企画開発

ー活動3ー

- 日帰りでは満喫できない五條市
魅力を見付け、商品化
- 実験ツアーの企画
- 滞在体験型観光

文化の
再生・活用



参考例

五條市

庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

学・遊

大人の体験プログラム

■地域の暮らしに根付いた
伝統・文化の体験

参考例

東祖谷



▲地域住民が講師となって工芸体験

▼ 郷土料理を地域のお母さんに教わる



庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

学・遊

大人の体験プログラム

- 自然体験・農林業体験
- 町並みガイド・ウォーク



▲五條ならではの農業を体験

▼ 五條新町の町並みを散策



参考例

五條市

庵の地域モデル★大人の滞在体験型観光まちづくり

学・遊

大人の体験プログラム

■体験後、地域と豊かな交流

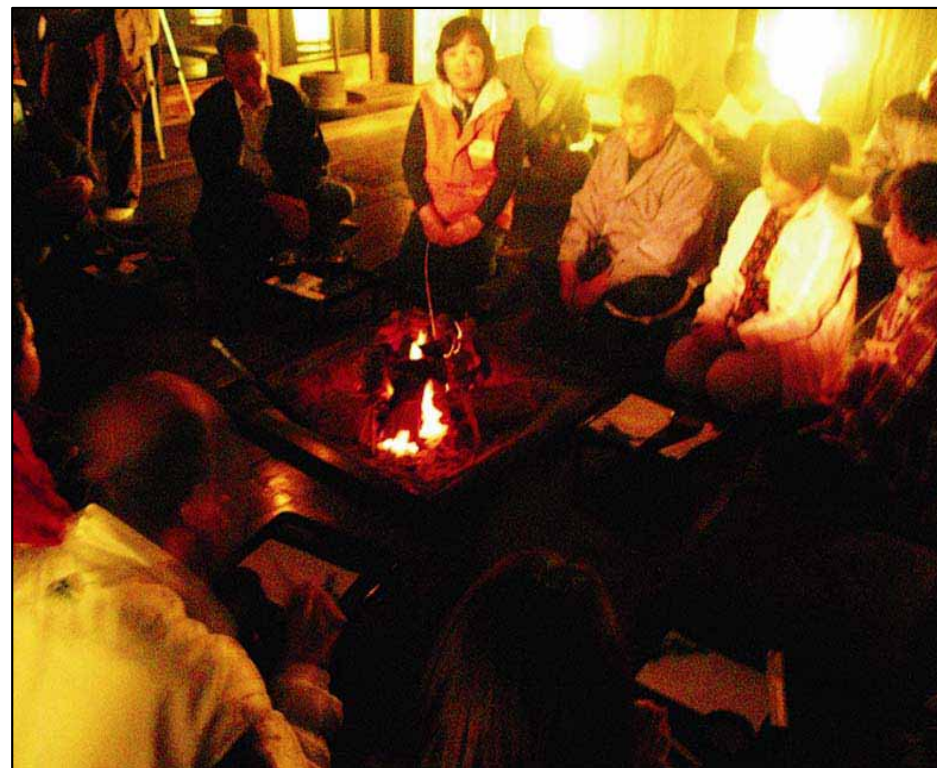
参考例

東祖谷



▲地元の住民とのおしゃべり

▼ 地元の人から歴史・文化を聴く



長崎県小値賀町（上五島列島・離島）

平成
20年

資源調査
空家・食など

総合企画

総務省外郭団体事業

総務省事業

平成
21年

改修企画
古民家・町家

改修工事
古民家・町家

国土交通省事業
旧K家+旧S家改修

農林水産省事業
旧F家改修

国土交通省
外郭団体事業
旧M家改修

平成
22年

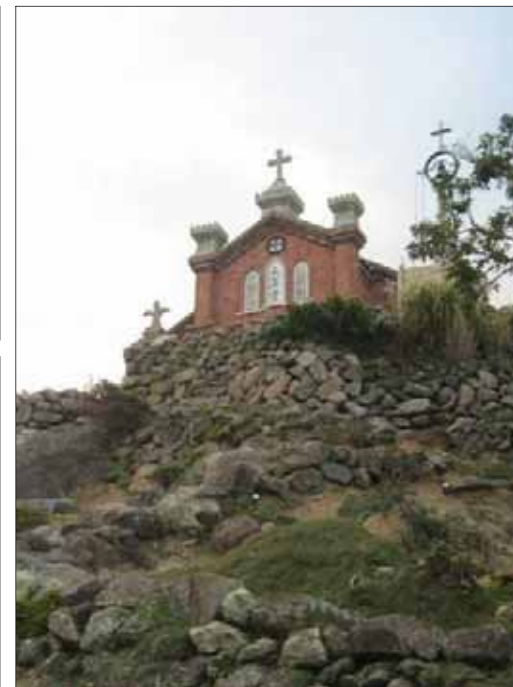
春
開業予定

人材育成

運営開始準備

運営予定

株式会社小値賀観光
まちづくり公社



lori 

インタビュー

長

（おちか）という島がある。観光や企業関係などで島を訪れた人々が驚くほど感動して帰る。なぜなのか。離島であるという地理的條件や、自然が比較的にきれに残っていることに加え、無人島（野島）での自然体験など特異的なパワーがあること、地域リーダーが育っていることなど、いろんな要素がそろっているからだ。小値賀は市町村合併をせず、単独で生き残りを決断した。合併は悪いことばかりではないが、小値賀の場合は島の独自性を保つ意味から、合併しなくてよかったケースだ。

離島づくりに「垂れ下っている」ことは、昔の良さが残る意味を問うて残さないことだ。全国どこでも同じような開発が行われる。どのムラに行っても、会期、市、資料館など公的施設ばかりが目立つ。行政は「目に見えるところ」には金を入れ、力を入れる。その象徴が道路の整備。道路がすべて悪いわけじゃないが、道路ができたことで独自の風情が失われた田舎は訪れる価値が薄まり、必然的に地元住民も出ていく。

全般的にいえることは、日本のまちづくりにある。ムラが一つ、実際ににはムラがあっても、実際にはないに等しい。歴史的に年々減った古い建物が老朽化の名の下に次々に取り壊されていくが、欧米では絶対にそんなことはない。必ず残す。先進国の常識だ。

いま、世界遺産登録を目指し運動を展開している自治体が多くある。しかし、世界遺産になったその目からその地域がダメになるのでは、ないかと危惧している。世界遺産になったのを機に行政が金をつぎ込んで、大衆の観光客を受け入れるための基盤整備などを必ずしも必要とする。さらに景観が悪くなる。これでは、さらに景観が悪くなる。これでは、さらに景観が悪くなる。

（聞き手は九州のムラへ行こう編集長・奥田信典）

Alex Kerr (アレックス・カー)



1952年、米国マリランド州に生まれる。1973年建築士の資格を取得。2003年の創業を機に、「おいしい」を掲げ、飲食業、美術品収集・販売、コンサルティングなど多岐に活動の範囲を拡大。著書「美しい日本の民衆」(新潮社)など多数。

美しきムラの残像

著者文化研究家 アレックス・カー



もとめていた食・自然・体験に出会うたび

九州のムラへ行こう

880 YEN

リニューアル創刊 Vol. 3

ムラのお得な割引券が付いています!

「信仰の島」で体感する世界遺産・ミサ・伝承食

感動の食、体験、交流に出会える新しい旅「農泊」

上五島 人吉 球磨

幻の酒米で仕込む銘酒「龍の尾」を育む蔵へ

「民俗学発祥の地」と柳田國男が定めた村

ヴァイオリン製作体験も楽しめる廃校で過ごす

宗像 椎葉 豊前

新シリーズ

ムラの「小豆編」おばちゃんレシピ

大好評!

ムラ三昧

農家レストラン、温泉、加工品...

37

論 評

アレックス・カー

庵 (いおり)・取締役会長



Alex Kerr 1952年米国・メリーランド州生まれ。1969年初年、映画に魅了。エール、オックスフォード大学で日本学と中国学を専攻。日本、アメリカ、ヨーロッパ各地で日本と東アジア文化に関する演説、文化コンファレンス、執筆、講演活動を行う。美術批評、伝統芸術、書などの文化イベントの総合プロデューサーも手がける。主な著書は「定しき日本の戦後」(朝日新聞)、「庵と大」(講談社)

五島列島北端の島々で実感！ まちづくりの最前線は「観光」だ

小値賀 (おちか) 島と野崎島は、本当に美しい所です。長崎県五島列島の北端に位置する小値賀島の島で、初めて訪れたのは今から3年前。平戸出身の青年が、「素晴らしい所がある」と案内してくれました。その時、住民の方たちが温かく迎えてくれ、海岸でみんなとおにぎりを食べたことをずっと記憶しています。それ以来、九州に立ち寄る機会があれば、ここを訪れています。

今年の2月、私は町から「おちか観光まちづくり大使」に、また先日、総務省より「地域アドバイザー」に任命されました。現在、その立場を生かし、私が代表を務める会社「庵」と町とともに、古民家再生を軸とした観光産業を立ち上げようとしています。庵による京都の町家、徳島県の山間部にある祖谷 (いづ) での古民家、これらの建築再生のノウハウを生かしています。

大きい方の島、小値賀島の人口は3,000人ほどで過疎化と高齢化が進んでいます。ここには立派な建物もなく、特別なものは何もありません。しかし、今の日本の田舎が失ってしまったものが奇跡的に残っています。散策できる山々の合間にきれいな田んぼが広がります。小さな漁港は愛らしく、その各々に立つ樹齢何百年の「アコウの木」の枝振りは、まるで御伽草紙の世界から抜け出たようです。

隣の野崎島はとても神秘的です。30年ほど前に住民は集団離島してしまい、今は無人島。打ち捨てられた田んぼは、繁殖した鹿たちがその草を食べることで、手入れされた芝生のようになっています。100軒ほどの漁村の民家は廃墟で、不思議な景観です。隠れキリシタンの村でもあり、明治につくられた旧野首教会 (1908年竣工) は印象的です。この建物は教会建築史上で著名な鉄川興助の初めてのレンガ造りの教会で、内部は柱とアーチを多用した木造ですが、精神性があり、大変美しいものです。大修復後、1991年、長崎県指定有形文化財に指定され、世界遺産暫定リストにも掲載されています。

この地は歴史もあり、奈良時代には中国へ行き来する遣唐使が、小値賀島に立ち寄ったといわれています。野崎島では、何千年前からあるというストーンヘンジのようなドルメンが存在します。沖の神島神社にそぞり立つ

「王位石」と呼ばれる巨大石で、圧巻です。

私にとって小値賀は、四国の祖谷と同様に「秘境」です。豊かな海や山、珍しい地形、道跡、温かい人々…。静かで深い時間が過ごせます。一方で、農業や漁業の主産業が衰退し、過疎化にあえぐ地域でもあります。最後の救いは、この地の魅力を生かした「観光」なのです。多くの人が観光客として訪れれば、飲食店や宿泊などの雇用が生まれます。それには「インフラ整備」が必要です。残念ながら日本でインフラ整備といえど、道路、美術館などのハコモノ、巨大な駐車場をつくることを意味します。私たちが目指すものはそうではありません。もともとあるものをきれいに洗いおいて、現代風にアレンジします。つまり、古民家を10軒ほど改修して宿泊施設にしようとしています。小値賀は江戸時代には捕鯨基地として栄えた村ですから、立派な造りの民家が点在しています。特に藤松邸などは庭も美しく港にも近いので、味わい深い施設となるでしょう。こうした再生事業には国の補助金もあり、大金も必要ありません。

宿泊施設において食事はかせません。地場の新鮮な魚、農作物を使用した風土料理はとても美味です。しかしそれをそのまま出すのではなく、都会風の味を加味するつもりです。東京からシェフを呼び、小値賀の人たちとともに新メニューを考えています。

私はときどき小値賀で会社の社員研修を行います。宿泊するのは野崎島の「野崎島ワイルドパーク自然学塾村」で、町が小学校を改修した施設です。ここで海岸のゴミ拾いなどの社会奉仕などをしつつ、住民の方と料理をつくったりして交流します。その都度、お互いに実に楽しく過ごします。また、昨年の夏にはアメリカの民間団体が派遣した米国人高校生180人が、一般民家に泊まったそうです。彼らは普通の暮らしの中で住民の優しさに触れ、大変感銘を受けたそうです。小値賀の人たちは、観光に対して熱意と理解があります。そしてまち起こしに一生懸命取り組みようとしています。そこに未来があります。

島では、山登り、カヤック、海水浴などで海も山も存分に味わえます。10月には「おちか国際音楽祭」が旧野首教会で開催されます。機会があればぜひ小値賀にいらしてください。リピーターになることは請合いますよ。(談)

特集／トップアスリートらが日本のスポーツ施設を診断！

建築ジャーナル

2008年9月号 No.1140

スポーツ施設徹底解剖

大住良之、永島昭浩、野田朱美が内外有名サッカースタジアムをチェックする！
稲葉洸太郎 (フットサル)、佐古賢一 (バスケット)、高橋大輔 (フィギュア) が語る夢のアリーナとは？
ラグビー、障害者野球、テニスの聖地とクラブハウスを現場検証



ジャーナル実務セミナー／「暮らしの中の電磁波対策」

環境負荷 NPO法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議・CASA、オールアース住宅 (レシナ)、WHO勧告その後

論評 五島列島北端の島々、まちづくりの最前線は「観光」と実感！アレックス・カー

Alex Kerr 「長崎県 小値賀島」



徳島県三好市東祖谷（山岳集落）

平成
20年

資源調査
空家・食など

総合企画

内閣府事業

平成
21年

改修企画
古民家

人材育成

内閣府事業

緊急経済対策
事業

平成
22年

改修工事
古民家

国土交通省事業
事業＜準備中＞

運営開始準備

現地NPO法人

運営予定

平成
23年

春
開業予定





四国のほぼ真ん中あたり、四国の屋根のひとつ、剣山山系の深く落ち込んだ谷間に、外国人ツーリストが多く訪れている集落があるという。かつて平家の落武者たちがいくつもの山を越えて逃れてきた山奥に、いったい何があるというのか。「古来の日本の姿」を探し求め、はるばる海を越えてやってきた新時代の旅人を追って、徳島県三好市東祖谷の山村にたどり着いた。



山の庵で 見つけた 古の ジャポニスム

徳島県・東祖谷
三好市東祖谷
三好市東祖谷



徳島県東祖谷地区の山奥に集落。住民の数十年前まで集落がなかった。住民は下から山頂まで歩いて登っていた。また、山から山頂まで歩いて登っていた。山の麓の集落の姿が映っている。

伝統的な和の生活を 学びながら、日本の情緒を 楽しむ祖谷体験

彼が東祖谷を訪れるようになってから約30年。当時は道路がなく、荷物を背中に負い、時間をかけて歩いて登ったという。「ここに来ることは、遠方から苦労しながらやってくるのと同じ。いわば神聖な場所なのではないか」とアレックス氏。車で打けるようになった現在も、家に持ち込んだ当時の備品を見、そのことを思い出すのだとか。



東祖谷地区の伝統的な生活。アレックス氏と、地元の住民が一緒に織物を織っている様子。

欧米からみた日本趣味、という意味の「ジャポニスム」。伝統的な文化とは、ほどよい生活を送っている私たちが、ここには、古のジャポニスムを感じてしまう。まさに、運輸人の日本ブームのような感覚だ。

しみ方に魅惑されている。体験型ツーリズムで町おこしを行っている「東祖谷めいめい」の市岡日出夫さんは、いわゆる「ジャポニスム」の地に戻ったときに、「ここでは隠居生活になるのかな」と半ば諦め気味だったとか。

「土壌の魅力と人生の楽しみ方を、彼らの『ここでの過ごし方』から学びました。生活が変化した」と市岡さん。



東祖谷地区の伝統的な生活。アレックス氏と、地元の住民が一緒に焚火を焚いている様子。

※アレックス氏が訪れているのは、7月15日～19日の期間限定で、10月15日～19日の期間限定で開催予定です。お問い合わせは www.city-miyoshi.jp。目的地：徳島県三好市東祖谷地区。目的地：徳島県三好市東祖谷地区。目的地：徳島県三好市東祖谷地区。

Alex Kerr



翼の王国 ANA 2007月9号

奈良県五條市新町通（江戸時代の商業都市）

平成
20年

資源調査
空家・食など

総合企画

総務省外郭団体事業

五條市単独事業

平成
21年

改修企画
古民家・町家

改修工事
古民家・町家

国土交通省
事業
旧M家改修

国土交通省
外郭団体事業
旧T家改修

人材
育成

緊急経済
対策事業

平成
22年

春
開業予定

運営開始準備

運営予定

新町通
観光まちづくり
株式会社

